

保健 医療 福祉 分野で社会に貢献します。

医心伝心

[いしんでんしん]

7

July

No. 172

2021.7.15

がん

と薬物療法

— 特集 —

■かかりつけ医を持ちましょう

当院は、地域医療連携を推進しています。当院を受診される場合は、かかりつけ医からの紹介と予約が必要です。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

◆ [紹介状持参のお願い]

当院の外来診療は紹介型専門外来です。初診の方は、地域診療所からの紹介状（診療情報提供書）を必ずお持ちください。紹介状なしで受診された場合、初診時の選定療養費（自費）5,500円（税込）がかかり、待ち時間が長くなりますのであらかじめご了承ください。

◆ [救急外来について]

当院の救急外来は、重症度の高い患者さんを優先に診療いたします。円滑な救急医療を行うため、なるべくかかりつけ医か休日診療所、在宅当番医を受診してください。必要に応じて当院にご紹介いただくシステムになっています。

◆ [予約変更専用窓口について]

予約の変更・確認は、予約変更専用窓口で承ります。ただし、歯科口腔外科の場合は歯科口腔外科外来までご連絡ください。

[予約変更専用窓口] 0566-25-8103

[歯科口腔外科外来] 0566-25-8020

[夏季休診日のご案内] 2021年 8月13日(金)～15日(日)

※ただし、緊急の場合はこの限りではありません。当院の救急外来では重症度の高い患者さんを優先に診療いたしますので、あらかじめご了承ください。

NEWS

1

初期臨床研修医について

臨床研修センター

今年度は、医師免許を取得した20名の初期臨床研修医が当院へ入職しました。

当院はNPO法人卒後臨床研修評価機構(JCEP)の認定研修施設です。研修医を育成するにあたり、医療の果たすべき社会的役割を認識させ、基本的な診療能力が身に付けられるよう取り組んでまいります。また、保健・福祉など医療と密接に関わる分野についても幅広く知識を身に付け、社会人としての規律を守り、医師として思いやりのある人格を育んでまいります。

指導医の下、チーム医療での修練を重ね、患者さん中心の良質な全人的医療を実践できるよう推し進めてまいります。

ご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



NEWS

2

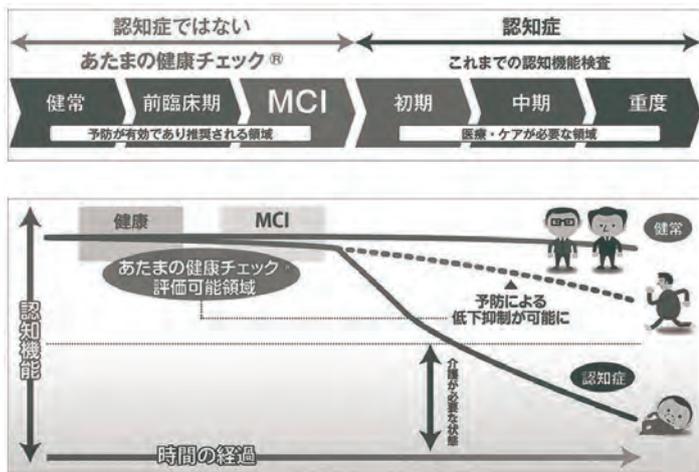
脳ドックオプションとして「認知機能検査」が行えます。

健診センター

4月27日から

【認知機能とは】
物事を正しく理解して適切に実行するための機能のことです。記憶力、言語能力、判断力、計算力などがあります。一般的に50歳頃から認知機能が低下するといわれています。

当院健診センターの認知機能検査では、軽度認知障害(MCI)を評価します。認知機能の低下を早期に発見し、生活習慣の改善や予防を行うことで、認知機能の低下を遅らせることが可能です。



脳ドックを受診される30歳以上の方が申し込みできます。ご希望の際は健診センターまでお問い合わせください。

【料金】
4,400円(税込)

広報誌タイトル

医心伝心 [いしんでんしん]

本来「心を以って心に伝う」の意、以心伝心。私たちの業務も患者さんの言葉のみに頼らず、表情、しぐさ、その向こうにある心の訴えに十分に目を向ける「心配り」を大切にすることが「医療安全」はもとより、快適な診療をお届けする基本だと考えます。そんな意を込め「以」を「医」としてタイトルにいたしました。

病院長 みつけた!

広報誌内に登場しています。
どこにいるでしょうか?
(答えは裏表紙に記載)

3カ所
です!



唾液腺マッサージで お口の健康を保ちま しょう

唾液と私たちの健康は深く関わっています。唾液には口の中の清潔を保つだけでなく、味を感じやすくする、食べ物を飲み込みやすくする、消化を助けるなどの役割があります。しかし、加齢やストレス、口呼吸などが原因で分泌量は減少するといわれています。

唾液分泌低下のサイン

- ・口が渇く、ネバネバする
- ・口臭が気になる
- ・パサパサしたものの（パン、さつまいもなど）が食べにくい
- ・虫歯、歯周病、口内炎になりやすいなど

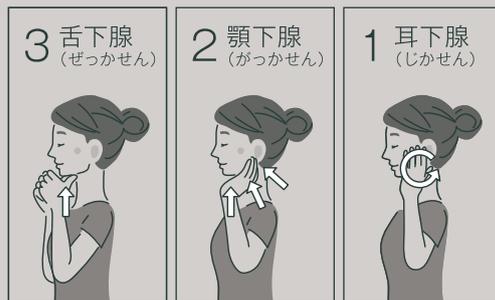
唾液分泌低下に対しては「ガムを噛む」「こまめな水分補給」などが有効です。加えて、起床時や食事前に主要な唾液腺のマッサージも始めてみましょう。

① 耳下腺 指数本を耳たぶの前方に当て、指の腹で5〜10回ゆつくりと回します。

② 顎下腺 あごの下から耳の下までの3〜4ヶ所を下から指先で押します。

③ 舌下腺 あごの真下を両手の親指で5〜10回押し上げます。
※全て痛みや不快感の出ない程度の強さで行いましょう。

唾液腺マッサージ



美味しい食事や楽しい会話を続けるために、マスク下のお口の状態について意識をしてみてくださいか。

言語聴覚士 福與 麻緒

Column

お子さんによく起こる滲出性中耳炎について

しんしゅつせいちゅうじえん

副鼻腔炎やアデノイド肥大などが要因で起こります。発熱や耳痛などの症状はなく、中耳の換気不良のため浸出液が溜まり、耳の閉塞感や難聴の症状が表れます。小さなお子さんは自覚症状を訴えないことも多く、テレビの音量が大きい、呼んでも返事をしない、学校健診で指摘されるなどにより発見されることがあります。治療としては保存療法、数カ月たっても治癒しない場合には手術療法などが行われます。

症状がある時や、お子さんの様子が普段と違う場合は、お近くの耳鼻咽喉科へ一度ご相談ください。

聴力検査士 岩井 充恵



編集委員からこんにちは

皆さんは、夏の風物詩といえば?と聞かれ、多くの事を連想するのではないのでしょうか。しかし、昨年同様、新型コロナウイルスが猛威を振るい、楽しい夏はまだまだ来そうにありません。プールに海、花火、帰省など、イベントが盛りだくさんの季節ですので早く日常を取り戻せたらと切に願うばかりです。栄養、睡眠時間をしっかりと取り、夏バテや新型コロナウイルスに打ち勝ちましょう。

広報委員 杉浦 芳雄

特集

がんの3大治療のひとつ

がんと薬物療法

がん治療について

副院長

がん総合診療センター長
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

吉田 憲生



今後、わが国では2名に1名が、生涯でがんに罹^り患するといわれています。がんは決して特別な疾患ではなく誰もがかかりうる病気であることを認識しておく必要があります。当院では、がんと診断された場合、患者さんに適した治療を受けていただけるように体制を整えています。

がんの3大治療として手術療法、放射線療法とともに重要なのが薬物療法（化学療法）です。当院では、薬剤を適切に選択して、副作用を最小限に抑えながら最大の効果が得られるよう治療に取り組んでいます。

また、がんゲノム医療と呼ばれる遺伝子レベルの診断技術に基づいた薬物治療も開発されつつあり、今後の普及が期待されています。

その他、標準治療※が確立されていない疾患や、現在よりもさらに高い治療効果が望まれる疾患などに対して、従来とは異なる治療法によりその効果を評価するため、治験や臨床試験を行うことがあります。保険適用外の治療が含まれることも多く、患者さんに対する十分な説明や同意、倫理的配慮が必要です。当院でも患者さんのご希望を確認しながら、治験や臨床試験に参加することがあります。

※がんの「標準治療」とは？

科学的根拠に基づいた観点で、現在利用できる最良の治療であることが示されている治療のことです。

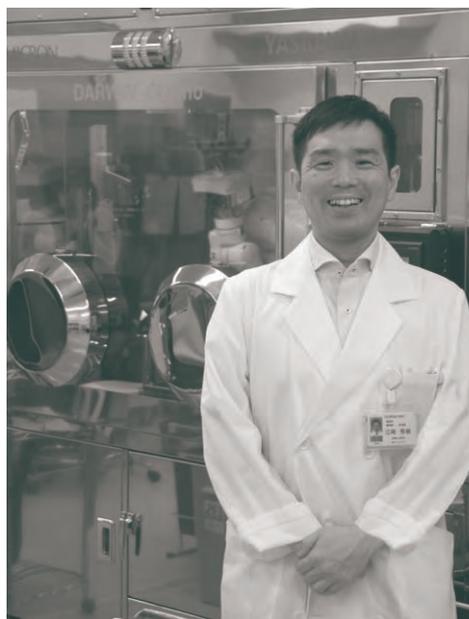
医療において「最先端の治療」が最も優れているとは限りません。最先端の治療は、開発中の試験的な治療として、その効果や副作用などを調べる臨床試験で評価され、それまでの標準治療より優れていることが証明され推奨されれば、その治療が新たな「標準治療」となります。

（参考）国立がん研究センターがん情報サービスサイト

全身療法と呼ばれる薬物療法とは

外来がん治療認定薬剤師

江崎 秀樹



「薬物療法」は、抗がん薬によるがんに対する全身療法の一つです。手術や放射線療法と組み合わせ、抗がん薬を使用する場合や、単独で行うこともあります。現在、保険適用範囲で使用可能な抗がん薬にはさまざまな種類があり「細胞障害性抗がん薬（従来の抗がん薬）」「分子標的抗がん薬」「ホルモン療法薬」「免疫療法薬（保険適用のある免疫チェックポイント阻害薬のみ）」と大きく4つに分けられます。どの薬をどのタイミングで使用するかについては病期（病気の進行度）やがんの種類によっても異なります。最近では遺伝子検査の

各抗がん薬について

細胞障害性抗がん薬

化学物質を用いてがん細胞を死滅または増殖を抑える薬。正常細胞へも攻撃するため、共通する副作用が多い。古くからあるが、今なお現役の抗がん薬。

【主な副作用】

吐き気、食欲不振、脱毛、骨髄抑制（白血球、赤血球、血小板の減少）など

ホルモン療法薬

がん細胞の成長を促すホルモンの分泌を抑えたり、ホルモンとがん細胞の結合を阻したりすることで、がん細胞の増殖を抑える薬。

【主な副作用】

ホットフラッシュ（ほてり、多汗など）、肝機能障害など

分子標的抗がん薬

がん細胞の特定のタンパク質などを分子や遺伝子レベルで捉えてターゲットとし、狙い撃ちにする薬。細胞障害性抗がん薬と組み合わせで使用する場合も少なくない。

【主な副作用】

皮膚障害、下痢、出血など

免疫療法薬

元々備わっている免疫機能（がん細胞を攻撃する力）を回復させ、自分自身の免疫で、がん細胞を攻撃し、増殖を抑える薬。

【主な副作用】

免疫関連の副作用（内分泌障害、薬剤性肺炎など）

結果で選択される場合もあります。また、副作用は使う薬によって異なり、副作用の発現時期はさまざまです。副作用を上手くコントロールしながら継続することが大切です。困りのことがあればいつでも薬剤師へご相談ください。

※これらの副作用以外にもさまざまな副作用がありますが、その種類や発現割合は抗がん薬によってさまざまです。

遺伝子検査ってどんなもの？

臨床検査技師

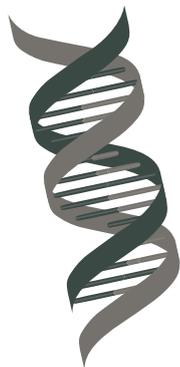
伊藤 英史



遺伝子とは

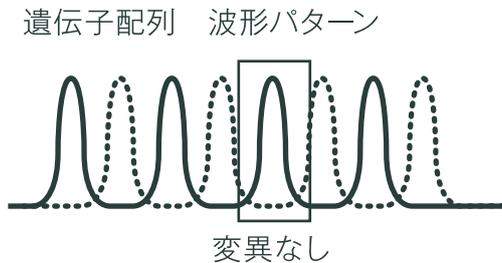
遺伝子は、生命の維持に必要なタンパク質の設計図です。

遺伝子に変化（変異）すると、作られるタンパク質の構造や機能に影響し、一部の変異はがんの原因となることがあります。

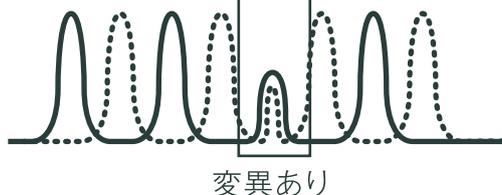


検査方法から結果まで

遺伝子変異を調べる検査方法は目的に応じて多岐にわたります。コロナで耳慣れたPCRは遺伝子を何十万倍に増幅する方法で、がん遺伝子の検出にも使用されています。特殊な機器を用いて増幅の程度や遺伝子配列を解析し、変異の有無を決定します。検査材料は血液や手術などで採取された組織です。検査結果は医師より伝えられます。



本来 — の波のみが出現するところに
.....が出現し、波の高さも低くなっている=変異している

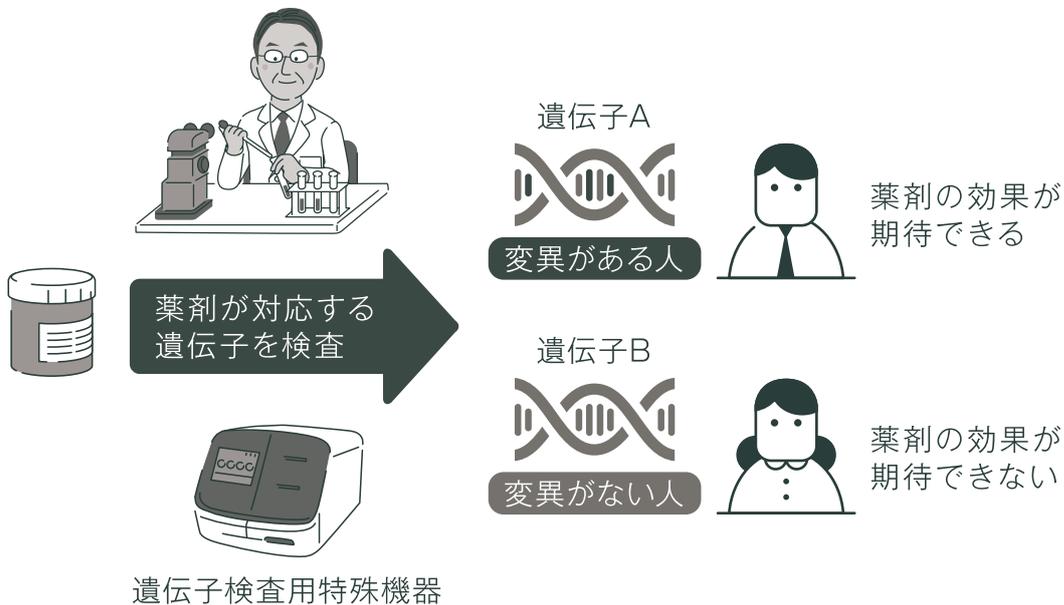


検査でわかること

特定の遺伝子を調べることで、一部の抗がん薬などの薬効や、再発の可能性について予測することができます。ちなみに遺伝子変異は、全てが次世代に遺伝するものではなく、遺伝子の種類によって異なります。

対象

「治療段階」「医薬品」「遺伝子」の組み合わせについて、国が有効性を認めた条件下でのみ、遺伝子検査が保険適用となります。詳しくは臨床検査技師にご相談ください。



治療方法の選択に悩んだり、迷ったりすることがあると思います。そのようなときには、がんの専門・認定看護師が診察に同席し、患者さんの思いを聴きながら治療方法を一緒に考えていきます。また、がん相談窓口での相談もできます。



患者さんが納得して
がん治療を受けるために
がん化学療法看護認定看護師
七里 京子
能登 智恵美

健診センター

年に1回、人間ドックや
健康診断を受けてみませんか？

完全予約制



女性専用
エリアを設置

TEL 0566-25-8182

受付時間 平日：8時～16時
第1・3土曜日：8時～13時30分



<https://www.toyota-kai.or.jp/facility/center/>

骨密度検査のススメ

骨量から骨の強度や密度を調べる被ばくの少ない検査です。骨量は加齢と共に減少し、骨粗しょう症は高齢者に多く見られますが、カルシウム不足の影響で若年層にも増加しているといわれています。

骨粗しょう症になると、転倒などにより骨折するリスクが高くなるといわれています。

ご自身の骨密度値を調べ、骨粗しょう症の予防・体調管理に役立てましょう。

料金：2,200円(税込)

※受診コースにオプションとして追加する場合

相談窓口

心配なこと、お困りのことなどが
ありましたら以下の窓口まで！

治療や療養上の総合的な相談
医療安全・医療事故に関すること ➡ 患者相談窓口

療養中の不安や
医療・福祉・介護の制度について ➡ 総合相談室(医療福祉)

がんに関する相談
(お電話でも相談可) ➡ がん相談支援センター
(がん相談窓口：0566-25-8110)

受付時間 平日：8時30分～16時45分
第1・3土曜日：8時30分～14時

場 所 正面玄関入って右

各種 イベント・教室

当院ホームページ
「広報・イベント情報」をご覧ください！

市民公開講座(医療の知恵袋)	院内コンサート
水曜会	パーキンソン病患者・家族の会
骨粗しょう症教室	
呼吸器系教室 (成人喘息教室・かきつばた会・COPD教室)	
栄養科の教室 (ヘルシークッキング教室・慢性腎臓病教室・減塩食体験会・心臓病のための栄養セミナー)	
がんに関する情報 (がんサロン・ピアサポーター(がん治療体験者)による院内説明会・社会保険労務士による患者さん相談会)	

<https://www.toyota-kai.or.jp/hospital/public/>

※詳細につきましては、病院ホームページや院内掲示などでご案内いたします。お出かけ前に病院ホームページをご確認のうえ、ご来院ください。



抗がん薬治療が決
定したら、化学療法
センターでは患者さ
んに投与する抗がん
薬について、医師・薬
剤師・看護師・管理栄
養士でカンファレン
スを行っています。
カンファレンスで
は、患者さんが安心
して治療が継続でき
るように、抗がん薬の特徴を踏まえて起こり
うる副作用の予防対策や副作用を最小限にす
るためのケアについて話し合います。



些細なことでもか
まいませんので、不安
なことなどありまし
たら、いつでもご相談
ください。



また、治療当日には化学療法センターで問
診を行い、自宅での生活状況や副作用の程度
をお聞きします。抗がん薬の副作用で皮膚ト
ラブルを起こしやすい場合があります。その
ような抗がん薬を使用している患者さんに
は、自宅での生活を踏まえて患者さんに合わ
せたスキンケアの方法を提案しています。

無症状のうちに「がん」を
早期に発見し治療することにより、
がんによる死亡のリスクを
減らすことができます。

当院健診センターでは、さまざまなコースを
ご用意しています。詳細はお電話でお問い合わせください。

【健診センター】 TEL 0566-25-8182

受付時間 平日：8時～16時
第1・3土曜日：8時～13時30分

